１ ，竹取の翁といふものＡあり。野山にまじりて竹を取り，よろずのことに使ひ。

名をば，さぬきのみやつこ となむいひ。その竹の中に，もと光る竹なむあり。

て，寄りて見るに，筒の中Ｂ光り。

それを見れば，なる人， ゐ。

２ これわが求むる山 と思ひて，さすがにおそろしく，山のめぐりをて，二，三日ばかり，見くに，天人のよそほひしたる女，山の中よりいで来て，銀の金椀を持ちて，水をくみ。これを見て，船より下りて，「この山の名を何と申す」と問ふ。女，答えていはく，「これは，蓬莱の山なり。」と答ふ。

これを聞くに，うれしきこと かぎりなし。

その山Ｃ，見るに，さらに登る なし。その山のそばひらをめぐれば，世の中になき花の木立てり。

金・銀・瑠璃色の水，山より流れいでたり。それには，いろいろの玉の橋渡せり。そのあたりに，照り輝く木立てり。

その中に，この取りてたりしは， しかども，Ｄ(３)が に かばと，この花を折りてまうで来たる。

３ ＥはＦ，不死の薬の壺Ｇ並べて，火をつけて燃やすべきＨ 。

Ｉ(２)がそのＪうけたまはりて，どもＫ て山へ登りけるよりなむ その山を「ふじの山」とはなずけける。

その煙Ｌ，いまだ雲の中へ立ち登るとぞ，言ひ伝へたる。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

１.①～⑲の現代語訳を答えなさい。

①( ) ②( ) ③( ) ④( )

⑤( ) ⑥( ) ⑦( ) ⑧( )

⑨( ) ⑩( ) ⑪( ) ⑫( )

⑬( ) ⑭( ) ⑮( ) ⑯( )

⑰( ) ⑱( ) ⑲( ) ⑳( )

㉑( )

２.㋐～㋖の働きを，次から選びなさい。

㋐( ) ㋑( ) ㋒( ) ㋓( ) ㋔( ) ㋕( ) ㋖( )

Ａ. 可能(…できる) Ｂ.現在進行(…している) Ｃ.反復(何度も…しては) Ｄ.断定(…だ。) Ｅ.疑問(…なのか？)

Ｆ.過去(…した) Ｇ.推定(きっと…ろう)

３.Ａ.～Ｋ.に当てはまる一文字を答えなさい。ただし，カッコがあるときは，カッコ内の文字数で答えなさい。

Ａ.( ) Ｂ.( ) Ｃ.( ) Ｄ.( )が Ｅ.( )は Ｆ.( ) Ｇ.( ) Ｈ.( ) Ｉ.( )が Ｊ.( ) Ｋ.( )